

# まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

## 第96号

平成22年(2010)2月発行

発行・事務局

◎ 荏原第一地域センター ◎

小山3-22-3 (〒142-0062)

☎ (3786) 2000

fax (3786) 5385



● 火災を早期発見!  
● 早期通報により被害は最小限!

## 付けましたか? 住宅用火災警報器

- ☆ 平成22年4月1日から、すべての住宅に住宅用火災警報器の☆
- ☆ 設置が義務となります。《空気が乾燥し火災が発生しやすい冬の☆
- ☆ 季節》住宅用火災警報器の活躍で多くの人命が救われています☆

### 【種類】

火災による煙を感知する「煙式」と熱を感知する「熱式」があります。火災をより早く感知するためには「煙式」を設置しましょう。

台所など火災以外の煙を感知する恐れがある場所には「熱式」を設置することができます。



【煙式】



【熱式】

### 【購入方法】

住宅用火災警報器は防災設備取扱店や電気器具販売店、ホームセンター、家電量販店などで購入できます。価格はおおむね4000円から1万円位です。購入の目安としては右のようなマークが付いている物を選びましょう。



品川区では、一人暮らしの高齢者と高齢者世帯を対象に住宅用火災警報器給付事業を実施しています。給付に当たっては要件がありますので、詳細は品川区役所高齢者福祉課庶務係までお問い合わせください。

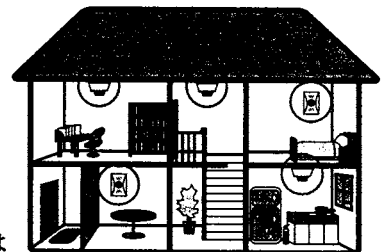
☎(5742)6728

消防職員や区役所の職員が販売することはありません。悪質販売にはくれぐれもご注意ください。

### 【取り付け場所】

居間、リビング、子ども部屋、寝室など普段使っている部屋と階段、台所に設置が必要で、各所の天井または壁に取り付けます。

- 住宅用火災警報器に関するお問合わせは 荏原消防署生活安全担当まで。☎(3786)0119



## 区長より地域貢献団体に感謝状

日ごろから地域においてボランティア活動を行っている団体に対して、昨年10月28日(水)、「きゅりあん」イベントホールで感謝状贈呈式が行われ、品川区長より各貢献団体に手渡されました。

荏原第一地域センター管内で表彰された団体は次の3団体です。

▽小山4丁目町会文化部(粹鼓囃子)：祭囃子の伝承を通じた青少年の健全育成

▽小山2丁目東部町会防犯パトロール隊：地域の防犯パトロール

▽中原共和町会イェーゴ会：清掃活動と声かけ運動を通じた地域の交流

## 3月1日から7日まで 春の火災予防運動

住警器設置を呼びかけ

荏原消防署では、3月1日から同7日まで春の火災予防運動を実施します。春先は一年の中でも最も火災の多い時期です。とくに今回は、別掲でも特集したように「住警器 頼れる我が家の 見張り番」をキャッチコピーに展開し、住宅用火災警報器の設置を地域の皆さんに呼びかけていきます。

汚す人 あなたの心も 汚れてる



☆ 荏原三公園の新防災施設 ☆

荏原3丁目町会で

運用訓練を実施

荏原3丁目町会では、昨年11月23日(月・祝日)に災害時要援護者避難誘導ワークショップを実施しました。また同時に昨年の改修工事により新たに2種類の防災施設が設置された荏原三公園で、新施設の運用訓練を実施しました。

新たに設置された防災施設とは、災害時に炊き出し用のかまどとして利用できる「かまどベンチ」が1基、組み立て式テントが収納されていて、災害時には仮設トイレとして利用できる「マンホールトイレ」が2基です。

当日には40名参加のもと、実際にかまどベンチを使って炊き出し訓練を実施、マンホールトイレでは仮設トイレを組み立ててみました。

参加者からは「一度試しておけば、いざという時にまづくことがないので安心した」などの感想が聞かれました。

# 街角 フラガ

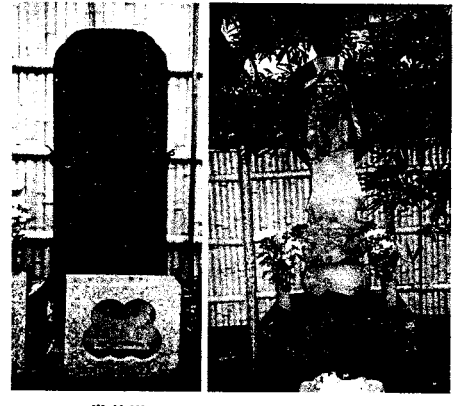
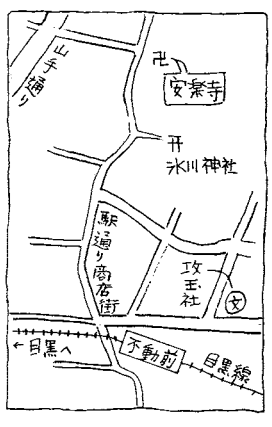
あなたも紙面づくりに参加してみませんか。俳句、短歌、川柳、身近なニュースなど事務局までお寄せください。

## 史跡散歩

### 安楽寺

不動前駅から商店街を五反田方向へ歩きます。曲がりくねった道をいくと、右手に水川神社の鳥居が見え、その先に安楽寺の境内が広がっています。

安楽寺は天台宗比叡山延暦寺の末寺で、室町時代後期の弘治2年(1556)に創建されました。境内に入ると、まず正面に赤い提灯が吊られた蓮理塚が目にとまります。歌舞伎で知られる白井権八と遊女小紫にゆかりの塚です。その隣には赤い衣を羽織った塩かけ地藏が立っています。塩を供えて祈ると願いがかなう、と古い伝えられているお地藏さんです。なるほど、今でも参詣者が絶えない様子で、足元には塩が盛られています。長い年月を経るうちに、その塩のためなのか下半身は溶けたように細くなっており、目鼻立ちもおぼつかないほど薄れてしまっています。



供養塔

塩かけ地藏

本堂の裏手に回ると70坪ほどの池が水をたたえています。崖下から湧き水が注ぎ、かつてこの水は近隣に住む人たちの大切な飲料水になっていました。

池の端には、品川区の文化財に指定されている庚申(こうしん)供養塔8基が立ち並んでいます。かつては、60日に1回ずつ巡ってくる「庚申(かのえさる)の日」には神仏に平和や長生きを祈り、仲間や飲食をともしながら夜を明かすという行事が行われていました。その折に造られていたのが庚申供養塔です。

安楽寺の供養塔群の中でとくに目を引くのが「火中出現御影写」の文字が刻まれた1基。現存する供養塔の多くは、板状の自然石に梵字や漢字を刻んだほどのものですが、この供養塔の図柄は少々凝っています。邪鬼を踏みつけ、剣姿が細かに彫られているのです。

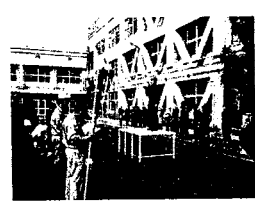
このほか、山門の脇には稲守稲荷が祀られています。文字どおり、稲作を守って人々の暮らしの安泰を祈願する大明神です。かつて、この近くを流れる目黒川の流域には田園風景が広がっていた。こんなのかな風景が目に見え、こんな風景が目に浮かんできませんか。

## 掲示板

◇各所で相次いで避難所訓練を実施◇

【小山台小学校】  
11月29日(日)、当番町会小山台1丁目東町会をはじめ小山台1丁目町会、小山台2丁目町会、小山台住宅のほかにPTAの皆さんまで総勢180名が参加。

まず、実際の災害時を想定して、町会長が校門の鍵を開けるところから訓練を開始。荏原消防署の協力でAED訓練のほか、避難場所・備蓄倉庫の確認、仮設トイレ、ろ過機、炊き出しなど多岐の訓練



小山台小学校



後地小学校

を体験しました。

【後地小学校】

12月6日(日)、当番町会小山2丁目西部町会をはじめ小山1丁目町会、小山2丁目東部町会から総勢80名が参加。荏原消防署協力のもとAEDと心肺蘇生に重点をおいた訓練のほか、避難場所・備蓄倉庫の確認、炊き出しなどを体験。とくに炊き出し訓練では、実際の災害時を想定して、パック入りのアルファ化米す。

## 「続々・国民の祝日」なるほびサントール

前号に続いて、今回は3月から7月までの祝日を掲載します。

【祭りに基づく祝日】

\* 春分の日(3月21日)：自然をたたえ、生き物をいつくしむ日です。立春が過ぎ、本当に春らしく感じられるのは春分の日頃からです。

\* みどりの日(5月4日)：自然に親しむとともに、その恩恵に感謝し豊かな心をはぐくむ日です。

【国家にちなむ祝日】

\* 昭和の日(4月29日)：激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を振り返り、国の将来に思いをはせる日です。

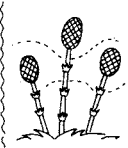
\* 憲法記念日(5月3日)：日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する日です。

\* 海の日(7月20日に近い第3月曜日)：海の恩恵に感謝し、海洋国家日本の繁栄を願う日です。

【人生に伴う祝日】

\* こどもの日(5月5日)：子どもの人格を重んじ、子どもの幸福を願うとともに母に感謝する日です。

## 俳句 短歌



湯たんぽに想い出するは母の愛 (荏原2丁目 大柳 勝雄)

菊一輪 出窓飾りて 薫香満ち (荏原3丁目 吉中 庸介)

春の首付があふれておりぬペンケース (荏原1丁目 吉田 久美子)

桜草 ピカソの胸毛に咲きました (荏原1丁目 吉田 健治)

「アイドリリング」次々に横文字の単語現れて (荏原1丁目 高橋 智子)

人類は今の君を失った (荏原1丁目 高橋 智子)

月に「それあれマイケルジャクソン」 (荏原1丁目 高橋 智子)

にお湯を注いで試食しました。作業負担を最小限に抑えることができたため、訓練は円滑に進みました。

◇「武蔵小山駅」バス停が新設◇

武蔵小山駅前広場の整備に伴って、五反田―世田谷区民会館間を結ぶ東急路線バスが駅前まで迂回され、ロータリー内に「武蔵小山駅」停留所が新設されました。26号線沿いの従来の停留所もそのまま設置されており、こちらも利用できま



次号「まちかど」は5月5日発行の予定です